

大腸がん			No.	1	2	4	5	6	7	8	10	12	17	18	
			所属地区医師会	北部	北部	北部	北部	北部	北部	北部	北部	北部	北部	中部	中部
			施設区分	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所
			検診機関名	恩納クリ ニック	かなな病 院	アスボメ ディカル クリニック	おくまクリ ニック	きんクリ ニック	やまだク リニック	もとぶ野 毛病院	かじまや リゾートク リニック	北部地区 医師会病 院	みのり内 科クリ ニック	よしクリ ニック	
85.8%			検診機関名	恩納クリ ニック	かなな病 院	アスボメ ディカル クリニック	おくまクリ ニック	きんクリ ニック	やまだク リニック	もとぶ野 毛病院	かじまや リゾートク リニック	北部地区 医師会病 院	みのり内 科クリ ニック	よしクリ ニック	
回収率 96.9%			遵守率	96.4%	82.1%	81.3%	96.4%	92.9%	64.3%	67.4%	100.0%	100.0%	100.0%	89.3%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。													
		a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
	遵守率			88.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。													
		a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
		b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
		c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
	遵守率			86.5%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 中部地区 医師会	2 中部地区 医師会	2 BML	2 中部地区 医師会	2 中部地区 医師会	2 保健科学 研究所	2 保健科学 研究所	2 中部地区 医師会、 ファルコバ イオシステ ムズ	1	2 中部地区 医師会	2 中部地区 医師会、 ファルコバ イオシステ ムズ	
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率			98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%		
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		2 中部地区 医師会	2 中部地区 医師会	1	2 中部地区 医師会	2 中部地区 医師会	1	1	1	1	2 中部地区 医師会	1	
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	1	2	2	2	3	1	2	2	2	1	2	
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)※を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遵守率			75.2%	85.7%	28.6%	100.0%	85.7%	71.4%	57.1%	57.1%	100.0%	100.0%	100.0%	
備考欄						(旧：KIN 放射線治療・健診 クリニック)					(ドック) 中部地区 医師会 (外来) ファルコ				

大腸がん		No.	20	21	22	23	24	27	28	29	32	34	37
		所属地区医師会	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部
		施設区分	病院	診療所	診療所	診療所	病院	診療所	診療所	病院	診療所	診療所	診療所
85.8%		検診機関名	潮平病院	愛聖クリニック	仲宗根クリニック	安立医院	翔南病院	まつもと胃腸科整形外科医院	ちばなクリニック健康管理センター	中部協同病院	桃山クリニック	なかむら内科おなかクリニック	アフセ第一医院
回収率 96.9%		遵守率	82.1%	100.0%	96.4%	89.3%	86.2%	96.4%	96.4%	96.4%	86.6%	89.3%	100.0%
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。											
		a 便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		b 精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		c 精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		d 検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		e 検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		f 大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		88.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 検査の精度管理	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。											
		a 便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
		b 測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		c カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		中部地区医師会	中部地区医師会	CRC	中部地区医師会	BML	中部地区医師会	㈱第一岸本臨床検査センター	中部地区医師会	中部地区医師会	中部地区医師会
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		中部地区医師会	中部地区医師会		中部地区医師会			中部地区医師会	中部地区医師会	中部地区医師会	中部地区医師会
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	3	2	2	2	2	1	2	2	2	2
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)*を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		75.2%	28.6%	100.0%	85.7%	57.1%	57.1%	85.7%	85.7%	85.7%	71.4%	100.0%
備考欄													

大腸がん		No.	40	43	44	47	48	55	57	59	64	65	66
		所属地区医師会	中部	国療	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部	中部
		施設区分	診療所	病院	病院	病院	診療所	病院	病院	診療所	診療所	診療所	診療所
85.8%		検診機関名	サンクリ ニック	沖縄病院	宜野湾記 念病院	海邦病院	西平医院	アドベン チストメ ディカル センター	ハートラ イフ病院	海風クリ ニック	まつしま クリニック	読谷村診 療所	こばし内 科クリ ニック
回収率 96.9%		遵守率	75.0%	89.3%	53.6%	89.3%	86.2%	96.4%	77.7%	96.4%	81.3%	67.0%	64.3%
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。											
		a 便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		b 精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		c 精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		d 検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		e 検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		f 大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		88.1%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 検査の精度管理	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。											
	a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
	b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
	c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
	遵守率		86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	25.0%	25.0%	100.0%
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 ファルコ バイオシ ステムズ	12 中部地区 医師会検 診センター	1	1	2 ハートラ イフ病院	1	1	2 中部地区 医師会	1 中部地区 医師会	2 中部地区 医師会
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○			×		○		○	○
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		1 中部地区 医師会	12	1	1	1	1	2 中部地区 医師会	1 中部地区 医師会	2 中部地区 医師会	2 中部地区 医師会
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	1	2	2	2	2	3	2	2	1	3
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)*を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○
	遵守率		75.2%	100.0%	57.1%	14.3%	57.1%	57.1%	85.7%	85.7%	85.7%	100.0%	42.9%
備考欄													

大腸がん		No.	68	70	71	74	75	77	79	80	83	86	87
		所属地区医師会 施設区分	中部 診療所	中部 病院	中部 診療所	浦添 診療所	浦添 病院	浦添 診療所	浦添 診療所	浦添 診療所	浦添 診療所	浦添 診療所	浦添 診療所
85.8%		検診機関名	たまきク リニック	中部徳洲 会病院	ファミリー クリニック きたなか ぐすく	みやぎ内 科循環器 科ファミ リークリ ニック	浦添総合 病院健診 センター	名嘉村ク リニック	キンザー 前クリ ニック	浦添協同 クリニック	さくだ内 科クリ ニック	ひがハー トクリニ ック	浦添中央 医院
回収率 96.9%		遵守率	45.5%	96.4%	70.5%	100.0%	96.4%	92.9%	100.0%	100.0%	96.4%	100.0%	67.0%
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。											
		a 便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		b 精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		c 精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		d 検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		e 検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		f 大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		88.1%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。											
		a 便潜血検査キットのキット名	81.8%	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
		b 測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
		c カットオフ値または検出感度	82.5%	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	遵守率		86.5%	25.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		中部地区 医師会	中部地区 医師会	保健科学 研究所	1	2	2	2	2	2	2
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○		○		○	○	○	○	○	○
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		中部地区 医師会	中部地区 医師会		1	1	1	1	1	1	1
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	3	3	2	1	2	2	1	1	1	1
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)*を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率		75.2%	57.1%	85.7%	57.1%	100.0%	85.7%	71.4%	100.0%	100.0%	85.7%	42.9%
備考欄													

大腸がん			No.	88	89	91	92	94	97	99	100	101	102	106
			所属地区医師会	浦添	浦添	浦添	浦添	浦添	浦添	浦添	浦添	那覇	那覇	那覇
			施設区分	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所
85.8%			検診機関名	稲福内科 医院	同仁病院	具志堅循環器・内 科	まえだク リニック	あかみね クリニック	浦西医院	かりまた 内科医院	にぬふあ ぶし診療 所	愛和ファ ミリーク リニック	ともし内 科循環器 科	さつきクリ ニック
回収率 96.9%			遵守率	64.3%	96.9%	92.9%	45.5%	100.0%	100.0%	96.4%	96.4%	89.3%	60.7%	100.0%
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。												
		a 便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
		b 精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
		c 精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
		d 検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
		e 検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
	f 大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	
	遵守率			88.1%	0.0%	100.0%	100.0%	14.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)		下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。												
		a 便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		b 測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
		c カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
遵守率			86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		那覇市医師会	保健科学研究所	保健科学研究所	那覇市医師会	保健科学研究所	那覇市医師会	那覇市医師会	保健科学研究所	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遵守率			98.9%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		1	1	1	1	1	1	1	1	2 那覇市医師会	1	1
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	2	1	2	3	2	2	1	3	1	1	1
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)*を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率			75.2%	57.1%	100.0%	71.4%	42.9%	100.0%	100.0%	85.7%	85.7%	57.1%	42.9%
備考欄														

大腸がん			No.	107	109	112	115	116	117	121	122	125	127	130		
			所属地区医師会	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇市立	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇
			施設区分	診療所	診療所	診療所	病院	病院	病院	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	
85.8%			検診機関名	うえばる クリニック	クリニック 絆	伊集内科 医院	たばる内 科胃腸科	那覇市立 病院	那覇ゆい 病院	開邦クリ ニック	川平病院	こくら台 ハートクリ ニック	前田胃腸 科医院	嶺井医院		
回収率 96.9%			遵守率	86.2%	75.4%	100.0%	86.2%	56.3%	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%	92.9%		
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。														
		a 便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		b 精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		c 精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		d 検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		e 検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	f 大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	遵守率			88.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(2)		下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。														
		a 便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
		b 測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
		c カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率			86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会検査センター	1	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会		
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○		
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
遵守率			98.9%	87.5%	87.5%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会		
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1		
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○		
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)*を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○		
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×		
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×		
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	遵守率			75.2%	57.1%	14.3%	100.0%	57.1%	100.0%	71.4%	100.0%	100.0%	100.0%	71.4%	71.4%	
備考欄																

大腸がん			No.	132	134	137	138	140	141	142	143	144	145	146	
			所属地区医師会	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇
			施設区分	診療所	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所
85.8%			検診機関名	はざま胃腸内科クリニック	岸本整形リハビリクリニック	琉生病院	さきはら内科	真玉橋クリニック	きなクリニック	首里内科クリニック	光輪会沖縄クリニック	くばがわメディカルクリニック	首里協同クリニック	シャロンクリニック	
回収率 96.9%			遵守率	89.3%	100.0%	89.3%	100.0%	71.4%	78.6%	100.0%	71.9%	96.4%	96.4%	67.9%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。													
		a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
		c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
		d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
		e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
	遵守率			88.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	57.1%	14.3%	100.0%	85.7%	85.7%	100.0%	0.0%
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。													
		a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遵守率			86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		1	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%		○		○	○	○	○	×	○		○	
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率			98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		2	2	1	2	1	2	1	1	2	1	1	
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	1	2	2	2	1	1	2	1	2	3	2	
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)※を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	
	遵守率			75.2%	57.1%	100.0%	57.1%	100.0%	28.6%	100.0%	100.0%	14.3%	100.0%	85.7%	71.4%
備考欄															

大腸がん			No.	147	150	152	153	154	155	157	158	160	163	165	
			所属地区医師会	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	
			施設区分	診療所	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	病院	診療所	
85.8%			検診機関名	叶クリ ニック	曙クリ ニック	小禄病院	八重洲ク リニック	輔仁クリ ニック	首里城下 町クリ ニック第 一	平良クリ ニック	那覇民主 診療所	おもろま ちメディカ ルセン ター	なかよし 内科クリ ニック	安木内科	
回収率 96.9%			遵守率	35.7%	100.0%	100.0%	100.0%	60.7%	100.0%	100.0%	90.2%	92.9%	92.9%		
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。													
		a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	遵守率			88.1%	14.3%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。													
		a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		c	カットオフ値または検出感度	82.5%	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
	遵守率			86.5%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		那覇市医師会	那覇市医師会	保健科学研究所	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会	那覇市医師会		1	2	那覇市医師会	
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○	○	○	○	○	○			○		
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
遵守率			98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		1	2 那覇市医師会	1	1	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1	1	2 那覇市医師会		
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	2	1	2	1	1	2	1	3	2	2		
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)※を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×		
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×		
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	遵守率			75.2%	28.6%	100.0%	100.0%	100.0%	42.9%	100.0%	100.0%	85.7%	71.4%	71.4%	
備考欄													回答なし		

大腸がん			No.	166	169	170	172	174	175	179	180	181	182	184			
			所属地区医師会	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇		
			施設区分	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	病院	診療所	診療所		
			検診機関名	おろくハートクリニック	友寄クリニック	いろのわクリニック	あらかき内科クリニック	メディカルプラザ大道中央病院	嘉数胃腸科内科医院	がきやクリニック	新川クリニック	大浜第一病院	若水クリニック	いらはクリニック			
85.8%			回収率	96.9%	遵守率	89.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%	100.0%	70.5%	96.4%	42.0%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。															
		a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
		b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
		c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
		d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
		e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	遵守率		88.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。															
		a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
		b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
		c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	
	遵守率		86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	25.0%		
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会			
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○	○	○		○	○	○		○	○			
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
遵守率		98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		2 那覇市医師会	1	2 那覇市医師会	1	1	2 那覇市医師会	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1			
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2			
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×		
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)※を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×		
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×		
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×		
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	遵守率		75.2%	57.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	71.4%	100.0%	57.1%	85.7%	42.9%		
備考欄						(旧:古謝内科医院)											

大腸がん			No.	187	189	190	191	194	195	196	197	198	199	202			
			所属地区医師会	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	南部		
			施設区分	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	病院	診療所		
			検診機関名	新垣クリニック	仲地胃腸内科クリニック	山城消化器内科医院	けいわクリニック	徳洲会新都心クリニック	仲本内科・小児科	のはら元氣クリニック	平田胃腸科・内科	かつれん内科クリニック	沖縄セントラル病院	ひめゆりクリニック			
85.8%			回収率	96.9%	遵守率	100.0%	100.0%	67.4%	100.0%	67.0%	96.4%	85.7%	100.0%	85.7%		35.3%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				×	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。															
		a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
		b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				×
		c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				×
		d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				×
		e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				×
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				×	
	遵守率			88.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			0.0%	
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。															
		a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	×	○	×	○	○	○	○				×
		b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	×	○	×	○	○	○	○				×
		c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	×	○	×	○	○	○	○				×
遵守率			86.5%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			25.0%		
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会			2 南部徳洲会病院		
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○	○	○		○	○	○	○				○	
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				×	
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	×	○	○	○	○	○	○				○	
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
遵守率			98.9%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			87.5%		
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 那覇市医師会			1		
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	1	1	1	1	2	1	2	2	1			1		
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	×	○	○	○	○	○	○				○	
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)*を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	○	○	○	○	×	×	○	○				×	
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	○	○	○	○	×	○	×	○	×				×	
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	○	○	×	○	×	○	×	○	×				×	
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○	○	×	○	×	○	×	○	×				×	
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	×	○	○	○	×				×	
	遵守率			75.2%	100.0%	100.0%	57.1%	100.0%	42.9%	85.7%	42.9%	100.0%	42.9%			28.6%	
備考欄													回答なし				

大腸がん			No.	203	205	206	207	208	209	212	213	214	218	219	
			所属地区医師会	南部	南部	南部	南部	南部	南部	南部	南部	南部	南部	南部	南部
			施設区分	病院	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	病院	診療所	病院	病院	病院	病院
85.8%			検診機関名	西崎病院 健康管理 センター	みんなの クリニック	豊見城中 央病院	豆の木ク リニック	がじまる 診療所	糸満協同 診療所	沖縄メ ディカル 病院	沖縄県健 康づくり 財団	沖縄第一 病院	南部徳洲 会病院	とよみ生 協病院	
回収率 96.9%			遵守率	92.9%	92.9%	89.3%	100.0%	74.1%	70.5%	89.7%	100.0%	96.4%	100.0%	96.4%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。													
		a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遵守率			88.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。													
		a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
		b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
		c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
遵守率			86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 BML	2 那覇市医師会	1	2 BML	2 BML	1	1	1	1	1	1	
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○		○	○							
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率			98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)※を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率			75.2%	71.4%	71.4%	57.1%	100.0%	71.4%	57.1%	71.4%	100.0%	85.7%	100.0%	85.7%	
備考欄															

大腸がん			No.	220	223	224	230	231	234	236	237	239	241	244		
			所属地区医師会	南部	南部	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	中部	中部	中部		
			施設区分	診療所	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所		
			検診機関名	豊見城中央病院付属健康管理センター	与那原中央病院	下地診療所	うむやすみやあす・ん診療所	きしもと内科医院	池村内科医院	親泊内科	那覇市医師会生活習慣病検診センター	中部地区医師会検診センター	登川クリニック	いわした内科クリニック		
85.8%			回収率	96.9%	遵守率	96.4%	74.1%	92.9%	42.0%	81.3%	82.1%	93.8%	81.3%	96.4%	96.4%	64.3%
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。														
		a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
		b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
		c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
		d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
		e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
	遵守率			88.1%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。														
		a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○
		b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○
		c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○
遵守率			86.5%	100.0%	25.0%	100.0%	25.0%	25.0%	100.0%	75.0%	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		1	1	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2	
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%			○	○	○		○	○		○	○	○	
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遵守率			98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)※を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	×
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	遵守率			75.2%	85.7%	71.4%	71.4%	42.9%	100.0%	28.6%	100.0%	100.0%	85.7%	85.7%	57.1%	
備考欄																

大腸がん			No.	249	250	251	253	255	256	259	260	264	265	268
			所属地区医師会	那覇	那覇	中部	南部	北部	北部	北部	北部	北部	北部	南部
			施設区分	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所
85.8%			検診機関名	のぶ内科クリニック	かいせいクリニック	川根内科外科	あかし内科クリニック	たいら内科クリニック	あき内科クリニック	やんばる協同クリニック	赤嶺内科	名護市屋我地診療所	大北内科胃腸科クリニック	かかず内科クリニック
回収率 96.9%			遵守率	100.0%	57.1%	89.3%	96.4%	85.7%	92.9%	70.5%	60.7%	38.8%	45.5%	96.4%
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。												
		a 便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
		b 精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
		c 精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
		d 検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
		e 検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○
	f 大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
	遵守率			88.1%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。													
	a 便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	
	b 測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	
	c カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	
遵守率			86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	25.0%	100.0%	25.0%	25.0%	100.0%	
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	2 中部地区医師会	2 CRC	2 北部地区医師会病院	2 北部地区医師会	2 北部地区医師会	1 北部地区医師会健康管理センター	2 北部地区医師会	2 SRL	
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遵守率			98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%	
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		2 那覇市医師会	2 那覇市医師会	1	1	2 北部地区医師会	2 北部地区医師会	2 北部地区医師会	1	2 北部地区医師会	2 北部地区医師会	1
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	1	2	2	3	1	2	2	2	2	2	2
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)*を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	遵守率			75.2%	100.0%	28.6%	57.1%	85.7%	42.9%	71.4%	57.1%	42.9%	57.1%	85.7%
備考欄														

大腸がん			No.	269	272	275	276	281	282	283	284	285	287	290	
			所属地区医師会	那覇	北部	宮古	－	宮古	中部	浦添	那覇	那覇	浦添	南部	
			施設区分	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	
85.8%			検診機関名	仲松内科 クリニック	西大條診 療所	中村胃腸 科外科	日本健康 倶楽部 沖縄支部	Hirara生 活習慣病 クリニック	読谷紅い もクリニッ ク	アイビー ホームケ アクリニッ ク	安謝ファ ミリークリ ニック	一銀内科 胃腸科ク リニック	幸喜内科・ 糖尿病・甲 状腺クリ ニック	とみしろ 内科	
回収率 96.9%			遵守率	100.0%			96.4%	45.5%	93.8%	85.7%	100.0%	75.0%	92.9%	67.9%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○			○	×	○	○	○	×	○	×	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)	検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。													
		a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○			○	×	○	○	○	○	○	○
		b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○			○	×	○	○	○	○	○	○
		c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○			○	×	○	○	○	○	○	○
		d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○			○	×	○	○	○	○	○	○
		e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○			○	×	○	○	○	○	○	○
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○			○	×	○	○	○	○	○	○	
	遵守率			88.1%	100.0%			100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。													
		a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○			○	×	×	○	○	○	○	○
		b	測定方法(用手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○			○	×	○	○	○	○	○	○
		c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○			○	×	○	○	○	○	○	○
遵守率			86.5%	100.0%			100.0%	25.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 那覇市医師会			1	2 BML	2 CRC	2 CRC	2 那覇市医師会	1 CRC	2 CRC	2 BML	
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○				○	○	○	○		○	○	
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率			98.9%	100.0%			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		2 那覇市医師会			1	1	1	1	2 那覇市医師会	1	1	1	
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	1			2	1	1	2	2	1	2	2	
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○			○	×	○	×	○	○	○	×	
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)※を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○			○	○	○	×	○	○	○	○	
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	○			×	×	○	×	○	○	×	○	
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	○			○	○	○	×	○	○	×	×	
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○			○	×	○	○	○	○	○	○	
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
遵守率			75.2%	100.0%			85.7%	57.1%	100.0%	42.9%	100.0%	100.0%	71.4%	71.4%	
備考欄					回答なし	回答なし			令和5年度よりがん検診開始。	令和5年度よりがん検診開始。	令和5年度よりがん検診開始。	令和5年度よりがん検診開始。	令和5年度よりがん検診開始。		

		大腸がん	No. 所属地区医師会 施設区分	292 宮古 診療所	294 中部 診療所	298 中部 診療所	299 那覇 診療所	300 那覇 診療所
		85.8%	検診機関名	ひさまつ クリニック	さくもと内 科クリ ニック	ブルーペ ンギン胃 腸内科ク リニック	ミルミルク リニック	那覇セン トラルク リニック
		回収率 96.9%	遵守率	100.0%	89.3%	63.8%	46.7%	
1 受診者への説明	(1)	がん検診に関する資料を検診機関に来場した対象者全員に検査を受ける前(検査キットの配布時)に配布していますか？	85.1%	○	○	×	×	
	(2)	検診機関に来場した対象者に配布する資料として、市町村(集合契約の場合は地区医師会)から参考資料1の提供を受けていますか？	92.2%	○	○	○	○	
		検診機関に来場した対象者に配布する資料には下記の内容が記載されていますか？ ※検査後に資料を配布している場合や資料を配布していない場合は本設問は全て「×」とご回答ください。 ※参考資料1を配布している場合は本設問は全て「○」とご回答ください。						
	a	便潜血検査陽性で要精密検査となった場合、必ず精密検査を受ける必要があること	89.0%	○	○	×	×	
	b	精密検査の方法(検査の概要、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になること)	87.0%	○	○	×	×	
	c	精密検査結果は市町村へ報告することに加えて、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を検診機関が共有すること	87.0%	○	○	×	×	
	d	検査の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)と、がん検診の不利益(がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合があること(偽陽性))	87.7%	○	○	×	×	
	e	検診間隔は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	88.3%	○	○	×	×	
	f	大腸がんがわが国のがん死亡の上位であること	88.3%	○	○	×	×	
		遵守率	88.1%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
2 検査の精度管理	(1)	検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか？	99.4%	○	○	○	○	
	(2)	下記の項目について、市町村(集合契約の場合は地区医師会)と検診機関の間で書面を取り交わしていますか？ ※契約市町村が複数ある場合は、一つでも書面で取り交わしていない市町村があれば「×」と回答してください。						
	a	便潜血検査キットのキット名	81.8%	○	○	○	○	
	b	測定方法(手法もしくは自動分析装置法)	82.5%	○	○	○	○	
	c	カットオフ値または検出感度	82.5%	○	○	○	○	
		遵守率	86.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
3 検体の取り扱い	(1)	便潜血検査を自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている→(3)～(9)についてお答えください。 ②行っていない→(2)～(6)についてお答えください。		2 CRC	2 CRC	2 CRC	2 那覇市医師会	
	(2)	受診者から検体を回収してから検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか？	96.1%	○	○	×	○	
	(3)	検診結果は少なくとも5年間は保存していますか？	98.0%	○	○	○		
	(4)	採便方法についてリーフレットや採便キットの説明書などを用いて受診者に説明していますか？	98.1%	○	○	×	○	
	(5)	採便後即日(2日目)回収を原則としていますか？(離島や遠隔地は例外とします)	98.7%	○	○	○	○	
	(6)	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導していますか？	100.0%	○	○	○	○	
	(7)	検査施設では検体を受領後冷蔵保存していますか？ (受領後すぐに検査をしている場合は、○としてください)	100.0%	○	○	○	○	
	(8)	検体回収後原則として24時間以内に測定していますか？ (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	100.0%	○	○	○	○	
	(9)	検査の方法は、大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版、日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠していますか？ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定がある。検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に努めなければならない。	100.0%	○	○	○	○	
		遵守率	98.9%	100.0%	100.0%	75.0%		
4 システムとしての精度管理	(1)	受診者への結果の通知・説明は自施設で行っていますか？ ②の回答を選択した場合は委託先名をご記入ください。 ①行っている ②行っていない		1 中部地区医師会	2	1	1	
	(2)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告の期間について、番号でお答えください。 ※(1)で②(行っていない)とお答えした施設は、結果通知の委託先に確認してお答えください。 ①検体回収後2週間以内 ②検体回収後4週間以内 ③その他(検体回収後5週間以降)	91.6%	1	3	2	1	
	(3)	昨年度(令和6年度)の貴施設の受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を市町村に報告していますか？ ※集合契約で地区医師会が事務代行し市町村への報告を行っている場合は、○と回答してください。	88.3%	○	○	○	×	
	(4)	要精密検査となった受診者の精密検査方法及び精密検査(治療)結果(内視鏡診断、生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見、病理組織検査結果)*を把握していますか？もしくは把握する体制がありますか？ ※市町村が行う地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指す。 ※集合契約で地区医師会が事務代行している場合も、把握の体制の有無についてご回答ください。	81.2%	○	×	○	×	
	(5)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、市町村から情報提供を受けましたか？	60.5%	○	○			
	(6)	一昨年度(令和5年度)の自施設のプロセス指標(要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)について、算出しましたか？	47.4%	○	×			
	(7)	自施設の精度管理状況(プロセス指標やチェックリストの遵守状況)を評価し、改善に向けた検討を行っていますか？	64.3%	○	○	×	×	
	(8)	都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努める体制はありますか？	92.9%	○	○	○	○	
		遵守率	75.2%	100.0%	57.1%	80.0%	40.0%	
		備考欄		令和5年度よりがん検診開始。	令和5年度よりがん検診開始。	令和7年度よりがん検診開始。	令和7年度よりがん検診開始。	令和7年度よりがん検診開始。 回答なし